

事業評価書

補助事業名	矢白別演習場関連公共用施設（消防に関する施設：消防自動車ほか）整備事業						
補助事業者名	厚岸町						
実施場所	厚岸消防署（厚岸郡厚岸町宮園2丁目414番地2） 厚岸消防団第1分団床潭部（厚岸郡厚岸町床潭142番地）						
補助事業の成果の目標	資器材搬送車の整備により各種資器材搬送の迅速化を図り、小型動力ポンプ積載車の整備により消防体制の強化を図る。						
補助事業の内容	資器材搬送車 1台 小型動力ポンプ積載車 1台						
補助事業の始期及び終期	平成30年6月～平成31年1月						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	平成31年度 予定	平成32年度 予定	平成33年度 予定	計
	事業費	円	円 19,011,200	円	円	円	円 19,011,200
	交付金額		円 18,200,000				円 18,200,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>資器材搬送車が整備されたことにより各種資器材搬送の迅速化が図られ、小型動力ポンプ積載車が整備されたことにより消防体制が強化された。</p> <p>また、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを以下のとおり記載し、地域住民への周知を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 車両本体への表記 2) 町ホームページへの掲載 3) 消防ホームページへの掲載 						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも、資器材搬送車及び小型動力ポンプ積載車の現況確認や地域住民の理解を得ながら事業を実施。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	矢白別演習場関連公共用施設（交通施設：道路維持作業車購入）整備事業						
補助事業者名	厚岸町						
実施場所	【保管場所】厚岸町役場（厚岸郡厚岸町宮園4丁目1番地）						
補助事業の成果の目標	<p>厚岸町では道路の維持管理として、舗装の損傷などにより発生する路面陥没や段差を補修する舗装補修、砂利道における路面整正などの作業を行い、冬期には町及び地元建設者として町内22.5kmの除雪作業を行っているものである。しかしながら、地元建設者の作業車の老朽化、故障等により除雪時間が遅延し、通勤・通学に支障を来している。</p> <p>また、地元建設者では作業車の保有・維持管理が困難なことから、当町で作業車を購入し、除雪作業態勢を維持するものである。</p>						
補助事業の内容	除雪ドーザ（3t級） 1台						
補助事業の始期及び終期	平成30年8月～平成31年1月						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	平成31年度 予定	平成32年度 予定	平成33年度 予定	計
	事業費	円	円 4,212,000	円	円	円	円 4,212,000
	交付金額		円 4,000,000				円 4,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施することで、道路の維持管理作業及び除雪作業に対して迅速かつ円滑な対応ができる環境を整備することができた。</p> <p>また、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を、車両本体に表記し、町のホームページにも掲載することで地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	地域住民の交通の安全を確保するため、今後も計画的に道路維持作業車を購入する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	矢臼別演習場関連公共施設（医療施設：医療機器購入）整備事業						
補助事業者名	厚岸町						
実施場所	町立厚岸病院（厚岸郡厚岸町住の江1丁目1番地）						
補助事業の成果の目標	町立厚岸病院では、老朽した医療機器等について、旧型のため処理速度が遅かったり、診断・治療の信頼性低下や既存メーカーよる部品交換などのサポートが受けられない状況等を改善させるため、当該機器を更新により、医療の質を向上させ、患者が安心・安全で快適な医療の提供を図るものである。						
補助事業の内容	超音波診断装置 1台 透析用監視装置 3台 上部消化管ビデオスコープ 1台						
補助事業の始期及び終期	平成30年9月～平成30年11月						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	平成31年度 予定	平成32年度 予定	平成33年度 予定	計
	事業費	円	17,636,400	円	円	円	17,636,400
	交付金額		16,300,000				16,300,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>上部消化管ビデオスコープの更新により、外来看護師長から「レンズの曇りが解消され詳細な検査が可能となり、合わせて画質が向上した。」、透析用監視装置の更新により、臨床工学技士から「加圧方式による血圧測定時の加圧負担の軽減と透析中における循環血液量の推移の確認が可能となったことから、より一層安全性及び信頼性が向上した。」、また、超音波診断装置の更新により、臨床検査技師から「超音波画像の改善及び低流速血流ノイズ除去機能により腫瘍評価が向上した。」などの評価が得られたことから、地域の医療福祉の向上が図られたと評価することができる。</p> <p>本事業が当調整交付金事業である旨を、機器本体部への表記と病院ホームページへの掲載及び院内掲示により住民への周知を実施した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも機器の使用状況や利用者及び医師、看護師等のニーズを踏まえながら事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	矢白別演習場関連公共用施設（医療施設：自動体外式除細動器購入）整備事業						
補助事業者名	厚岸町						
実施場所	厚岸町友遊児童館（厚岸郡厚岸町真栄1丁目2番地） 厚岸町立真竜保育所（厚岸郡厚岸町港町2丁目2番地） 厚岸町子夢希児童館（厚岸郡厚岸町梅香1丁目2番地） 厚岸町立厚岸保育所（厚岸郡厚岸町梅香2丁目2番地） 厚岸町立真龍小学校（厚岸郡厚岸町真栄2丁目1番地） 厚岸町立厚岸中学校（厚岸郡厚岸町梅香1丁目5番地） 厚岸町立厚岸小学校（厚岸郡厚岸町梅香2丁目3番地） 厚岸町尾幌酪農ふれあい館（厚岸郡厚岸町尾幌124番地） 厚岸町温水プール（厚岸郡厚岸町湾月1丁目1番地） 厚岸情報館（厚岸郡厚岸町宮園1丁目1番地） 厚岸町役場（厚岸郡厚岸町真栄3丁目1番地） 厚岸町立太田へき地保育所（厚岸郡厚岸町太田5の通り23番地1） 厚岸町立真龍中学校（厚岸郡厚岸町白浜1丁目5番地） 厚岸町立高知小中学校（厚岸郡厚岸町若松307番地） 厚岸町立太田小学校（厚岸郡厚岸町太田4の通り32番地1） 厚岸町多機能共生型地域交流センター（厚岸郡厚岸町奔渡2丁目1番地）						
補助事業の成果の目標	厚岸町では、平成19年度から当調整交付金によりAEDの整備を開始し、設置から10年が経過している。 AED本体には耐用年数は7年程度とされており、未使用であっても7年ごとに機器の再購入が必要となり、町内に設置している機器については、既に耐用年数を過ぎてしまった機器もあるため、早急に整備する必要がある。 このため、本事業において機器を更新し、町民が安心・安全に暮らせる環境を整えることで、生活環境の維持を図る。						
補助事業の内容	自動体外式除細動器 16台						
補助事業の始期及び終期	平成30年9月 ～ 平成30年10月						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	平成31年度 予定	平成32年度 予定	平成33年度 予定	計
	事業費	円	円 6,393,600	円	円	円	円 6,393,600
	交付金額		円 5,900,000				円 5,900,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	施設管理職員から「幅広い年代、様々な方が利用する施設でのAEDの設置はとても重要であり、設置していることにより安心感を持つことができる。」、「AEDを更新したことにより、職員及び来庁者の安全管理を向上することで、地域住民の福祉の向上が図られる。」、「小児用キーを差し込むAEDになったため、使用時にパッドを迷うことがなくなり、1分1秒を争う使用時に迅速に対応することが可能になった。」などの評価が得られたことから、町民が安心・安全に暮らせる環境を整えることができたことと評価することができる。 なお、防衛省特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを、機器本体に表記、町ホームページへ掲載し、地域住民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、町民が安心・安全に暮らせる生活環境の維持を図るため、適切な管理を行い計画的に機器を更新する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	矢白別演習場関連公共用施設（社会福祉施設：特別養護老人ホーム心和園送迎車購入）整備事業						
補助事業者名	厚岸町						
実施場所	厚岸町特別養護老人ホーム心和園（厚岸郡厚岸町白浜4丁目1番地）						
補助事業の成果の目標	<p>当施設で使用している送迎車両は平成14年度から運行しており、老朽化が著しくエンジンの不調に加え片側スライドドアの開閉不良がおき、その修繕に多額の費用がかかるほか、今後も故障の多発が予想される。</p> <p>このため本車両を更新することにより利用者の利便性の向上や送迎能力を確保することで、福祉の増進を図る。</p>						
補助事業の内容	特別養護老人ホーム心和園送迎車 1台						
補助事業の始期及び終期	平成30年12月～平成31年2月						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	令和元年度 予定	令和2年度 予定	令和3年度 予定	計
	事業費	円	円 3,171,000	円	円	円	円 3,171,000
	交付金額		3,100,000				3,100,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>施設サービス事業利用者及び送迎従事職員から乗り心地や利便性等の向上について評価され、施設サービスの一層の向上による、福祉の増進が図られたことが確認できた。</p> <p>また特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを、車両本体に表示及び町のホームページに掲載したことで、本事業により福祉の増進が図られている旨周知した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	<p>近年は要介護度の高い利用者や車いす利用者が増加している状況であり、今後更に進行する高齢化社会に対応するために、送迎車の稼働状況や利用者及び送迎従事職員の意見を踏まえながら計画的に事業を実施する。</p>						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	矢臼別演習場関連公共用施設（教育文化施設：学校給食機器購入）整備事業						
補助事業者名	厚岸町						
実施場所	学校給食センター（厚岸郡厚岸町白浜3丁目1番地）						
補助事業の成果の目標	現在使用しているスチームコンベクションオーブンは、設置後13年が経過し経年劣化が激しく、度重なる故障により業務に支障をきたしている。 このことから、スチームコンベクションオーブンを更新し、安心安全な学校給食の供給ができる環境を整備する。						
補助事業の内容	スチームコンベクションオーブン 1台						
補助事業の始期及び終期	平成31年1月～平成31年2月						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	令和元年度 予定	令和2年度 予定	令和3年度 予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額		2,430,000				2,430,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業実施後、栄養教諭からは大量調理であっても均一な仕上がりのものを提供できるようになり、また調理作業全体の効率化が図れるようになった、児童生徒及び教職員からは給食がおいしくなったとの評価を得られた。このことから、安定的に給食を供給することにより、校内での生活環境の向上が図られたといえる。</p> <p>本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業であることを、給食だよりへ掲載し、また、給食だよりを町教育委員会のホームページに掲載し周辺住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、機器の使用状況や児童生徒及び保護者等のニーズを踏まえながら、計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の有無	無						

事業評価書

補助事業名	矢白別演習場関連公共用施設（産業の振興に寄与する施設：町営牧場大別団地隔離牛舎新築）整備事業 矢白別演習場関連公共用施設（産業の振興に寄与する施設：町営牧場大別団地隔離牛舎パドック新築）整備事業						
補助事業者名	厚岸町						
実施場所	厚岸町営牧場（厚岸郡厚岸町大別1番地）						
補助事業の成果の目標	<p>町営牧場は近年の大型経営による農家個々の負担を軽減するため、各農家が行っていた乳用牛の育成部門を行政が担い、酪農経営の効率化と乳牛の生産性を高めることを目的として、夏期放牧で2,500頭程度、冬期舎飼で1,300頭程度、乳用育成牛を農家から預託されるなど、重要な施設となっている。</p> <p>町営牧場に入牧する際には、届出伝染病であるBVDの検査を行うこととしているが、現在農家から搬入されてきた牛を隔離しておく牛舎が無く、一般の牛舎に柵を簡易的に付けるなどして対応しているが、頭数が多い場合など対応が難しい状況にある。</p> <p>隔離牛舎及び付帯するパドックを建設することで、入牧する際の検査態勢が整うことにより場内の環境が清浄化され、町内酪農家から預託される乳牛の健康保持と育成が推進されることにより産業振興を図る。</p>						
補助事業の内容	町営牧場大別団地隔離牛舎及びパドック新築						
補助事業の始期及び終期	全体：平成28年度～平成30年度 今年度：平成30年8月～平成31年3月						
事業費及び交付金額		平成29年度 まで	平成30年度	令和元年度 予定	令和2年度 予定	令和3年度 予定	計
	事業費	106,488,000	130,258,800				236,746,800
	交付金額	103,500,000	118,500,000				222,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>パドック建設によって、検査捕獲場や給餌施設、給水器などが設置され、隔離牛舎本体と計画に沿った運用が図られ、町営牧場に入牧する段階での感染牛の摘発や、疑似患畜牛の自然治癒するまでの間、隔離できるようになり預託される乳牛の健康保持と育成が推進された。</p> <p>また、預託している農家から聞き取りを行ったところ、効果に期待する声が寄せられ、感染牛の減少傾向も確認された。</p> <p>なお、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用した事業であることを、以下の方法により地域住民へ周知した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町のホームページへの掲載 ・本牛舎の出入口のプレートに表示 						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも施設の運営を効率的にすすめ、町営牧場に預託される乳牛の健康保持と育成に努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						